

横倉義武（日本医師会名誉会長）氏、「ワンヘルスを語る」!!



令和4年3月7日、福岡市で開催された「毎日・世論フォーラム」（毎日新聞社主催）で、「**コロナ禍とワンヘルス**」と題して講演されました。

「ワンヘルス」とは人の健康、動物の健康、環境保全は一つという考えのもと、人と動物、そしてそれらを取り巻く環境が直面しているさまざまな課題に対して、医師や獣医師、研究者だけでなく、行政や企業、市民も一緒になって解決していこうという社会活動です。

人、動物、環境は相互につながっており、人の健康を守るためには動物も環境も健康であることが大切です。

これらを『一つの健康』と捉え、関係者が連携して問題解決にあたる考え方を「ワンヘルス」といいます。

世界中で猛威を振るっている新型コロナウイルス感染症をはじめとする人と動物の共通感染症を防ぐため、「ワンヘルス」が世界的に注目されています。

横倉氏は**講演の中**で、新型コロナや狂犬病など、感染症には動物から人に伝染して流行するものが多いことを指摘し**「(感染拡大は)健康だけでなく、経済的にも甚大な影響が出る。感染症対策のためにも人と動物が共生できる社会を作ることが必要だ」**と述べられました。

また環境面では、**「都市化による森林破壊が起きると、森林にとどまっていたウイルスなどが新たに人間の社会に拡散されるリスクがあり、環境保護の認識を高めることが大事になる」**とも語られました。

◎ 【横倉義武先生とワンヘルスとの関わり】

2013年11月20日、横倉義武日本医師会会長（当時）と藏内勇夫日本獣医師会会長との間で、『**学術協力推進に関する協定書**』が締結されました。

この協定書は、2012年10月に世界医師会（WMA）と世界獣医学協会（WVA）の間で締結された覚書の「One World, One Health」の理念に基づいたものです。

2015年にスペイン（マドリード）で開催された世界獣医師会と世界医師会による『第1回ワンヘルス国際会議』において、横倉義武会長と藏内勇夫会長が講演を行いました。

2016年11月には、第2回世界獣医師会－世界医師会ワンヘルス^oに関する国際会議が開催されました。

この会議では、「ワンヘルスの概念を検証し、認識する段階から、ワンヘルスの概念に基づき行動し、実践する段階に進む」との決意が表明され、4カ条から成る『福岡宣言』を採択・調印し、世界に発信されました。

『福岡宣言』の4カ条は、以下のとおりです。

1. **人と動物の共通感染症予防のための情報交換と研究体制の整備**
2. **人と動物の医療において重要な抗菌薬の責任ある使用**
3. **“One Health”の理念の理解と実践を含む医学・獣医学教育の改善**
4. **健全で安心な社会の構築に係るすべての課題解決のための協力**



左から、藏内日本獣医師会会長、ジョンソン・チャン世界獣医師会会長、
ザビエル・ドゥー世界医師会元会長、横倉日本医師会（世界医師会）会長

2022年3月8日

福岡ワンヘルス協議会・事務局